

市民公開シンポジウム

化学物質の内分泌かく乱作用 研究の最新動向

2017年9月15日(金)

14:00-17:00 (開場 13:30)

コンベンションホールAP浜松町
N+0会議室

東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館地下1F

参加費
無料
(定員130名)

化学物質の内分泌かく乱作用に関する国内外の研究の最新動向について、一般市民から専門家までを対象として紹介する公開シンポジウムを開催します。それぞれ講演ごとに質疑応答・意見交換の時間を設けてあります。どなたでも無料でご参加いただけますので、参加希望の方はsympo1552@nies.go.jp宛にメールでお申し込みください。

14:00-14:10

開会挨拶・趣旨説明 国立環境研究所 中島 大介

14:10-14:30

内分泌かく乱化学物質の科学的現状
－残された諸問題

国立環境研究所 曾根 秀子

14:30-14:50

海外における化学物質の
内分泌かく乱作用に関する動向

国立環境研究所 中山 祥嗣

14:50-15:20

環境ホルモン物質の
ヒト生殖影響

東洋大学 吉永 淳

15:20-15:50

大気中の受容体結合活性物質の分布と季節変動

信州大学 宮原 裕一

15:50-16:20

幼児および新生児の
ネオニコチノイド系農薬曝露の実態

北海道大学 池中 良徳

16:20-16:45

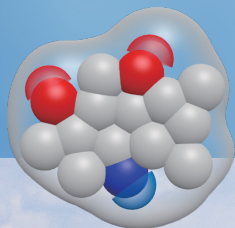
【環境研究総合推進費5-1552紹介】

環境中のエストロゲン様物質を探索するための
新たなアプローチ

国立環境研究所 中島 大介 / 京都大学 久保 拓也

16:45-17:00

まとめ・閉会挨拶



JR山手線・京浜東北線「浜松町駅」北出口より徒歩約7分
都営浅草線・大江戸線「大門駅」A6出口より徒歩約3分
都営三田線「芝公園駅」A3出口より徒歩約3分

本シンポジウムは平成29年度 環境研究総合推進費5-1552：「活性特異的濃縮基材と精密質量数による内分泌かく乱化学物質のスクリーニング法開発」の支援を受けて開催します。

■お申し込み・お問い合わせ

国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター 曝露影響計測研究室 Tel. 029-850-2186 (担当：中島・大地)

sympo1552@nies.go.jp へ「氏名」(ある場合は)所属」を記載の上、メールにてお申し込みください。定員に達し次第締め切ります。

主催：国立研究開発法人 国立環境研究所